

新基地建設反対名護共同センターニュース

辺野古に800人結集 14ヶ月ぶりに県民大行動



「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は4日、米軍キャンプ・シユワブゲート前で県民大行動を14ヶ月ぶりに開き800人超が参加しました。玉城デニー知事が大行動に初めて参加。「国の埋立変更承認申請を不承認としたことを報告に参りました」と切り出すと、「よくやっただよ、県民がついてきているぞ」と声援や口笛、拍手がわきました。赤嶺政賢衆院議員などオール沖縄の国会議員、首長、各地島ぐるみ会議の代表らが訴え、「たたかいはこれからだ。名護市長選など来年の一連の選挙戦を勝ち抜き、新基地建設を必ず中止させよう」と意気高く意思統一しました。渡久地政志・新北谷町長、岸本洋平名護市長予定候補、瑞慶覧朝敏南城市長が手をつなぎ決意を表明すると大きな拍手に包まれました。

国の横暴に絶対負けない。たたかいはこれからだ。



写真右は決意を表明するデニー知事、上は「支持」のパネルを掲げる国会議員など。写真左は右から渡久地北谷町長、岸本名護市長、瑞慶覧南城市長



テント内も熱気に包まれました。

知事の「不承認」支持！全国に広がり 新たな局面に

「オール沖縄会議」は3日、那覇市県民広場でデニー知事の「不承認」を支持する県民集会を開き、500人が参加しました。主催者を代表して新里米吉共同代表が「知事の決断を支持し、運動を拡大強化していこう」と訴えました。県議連と党会派の各代表も知事の「不承認」を受け、不屈にたたかう決意を力強く表明しました。右翼の街宣車が大音量で妨害する中、集会終了後、参加者は国際通りを整然とデモ行進しました。

首相官邸前でも500人
首相官邸前には、総がかり実行委員会と「止めよう！ 辺野古埋め立て」国会包囲実行委の主催で500人が集まりました。総がかり実委の勝島一博さんが「沖縄の声を受け止め、岸田政権は基地建設を断念すべきだ」と述べました。日本共産党、立憲民主党、社民党の国会議員がスピーチ。

「辺野古」の問題は急速に全国的問題へと発展し、たたかいは新たな局面を迎えています。



大津市 40人の参加でブルーアクション

講演会のお知らせ
なぜ、沖縄は貧困なのか
沖縄振興の真実を暴く！



講師/前泊博盛 冲国大教授
日時/12月15日(水) 18:30~
会場/名護市港区公民館
主催/へり基地反対協議会
連絡先・090-3793-1323 (仲本)

研究者・ジャーナリストとして沖縄経済、地域振興策、日米安保などの調査・研究

「辺野古新基地建設ストップ・滋賀の会」などの主催で3日、大津市 JR 膳所駅前前で「美ら海守れ！ 沖縄県知事の「不承認」支持 辺野古ブルーアクション in 滋賀」のアピールアクションを行いました。総がかり実行委員会に加盟する団体や個人、約40名が参加しました。4人が歌でアピールし、若者中心に8人がリレースピーチ。「政府は、玉城デニー沖縄県知事が出した『辺野古設計変更申請不承認』の決定を受け止めて、辺野古新基地建設の断念を」、「危険な訓練を繰り返す米軍基地は要らない」と訴えました。全員がブルーの服やネックウォーマーなどを身にけ、歌を歌いながら、「遺骨が眠る土砂を基地建設に使わないで」の署名も呼びかけました。
(通信：高田恵子さん)



12/12 (日)

開場 13:30
開演 14:30
名護市民会館 大ホール
入場料 2,000円
限定 350席(全席自由)
※前売券無し予約制
※受付で検温・消毒・氏名・連絡先記入のご協力をお願いします。
【予約・問い合わせ】
0980-53-1338 (竹下)
090-3790-7603 (大城)



主催：アミーゴ・デ・ギターラ
後援：名護市文化協会、名護市教育委員会
沖縄タイムス社、琉球新報社